

# Traders Market Report

トレーダーズ・アイは2008年3月31日をもって廃刊となります。

金融商品取引業登録番号 関東財務局長(金商)第123号  
〒106-6029東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー29階  
トレーダーズ証券株式会社 マーケティング企画部 営業企画課 発行

<http://www.traderssec.com/>

【トレーダーズ・マーケット・レポート】  
トレーダーズ・アイ



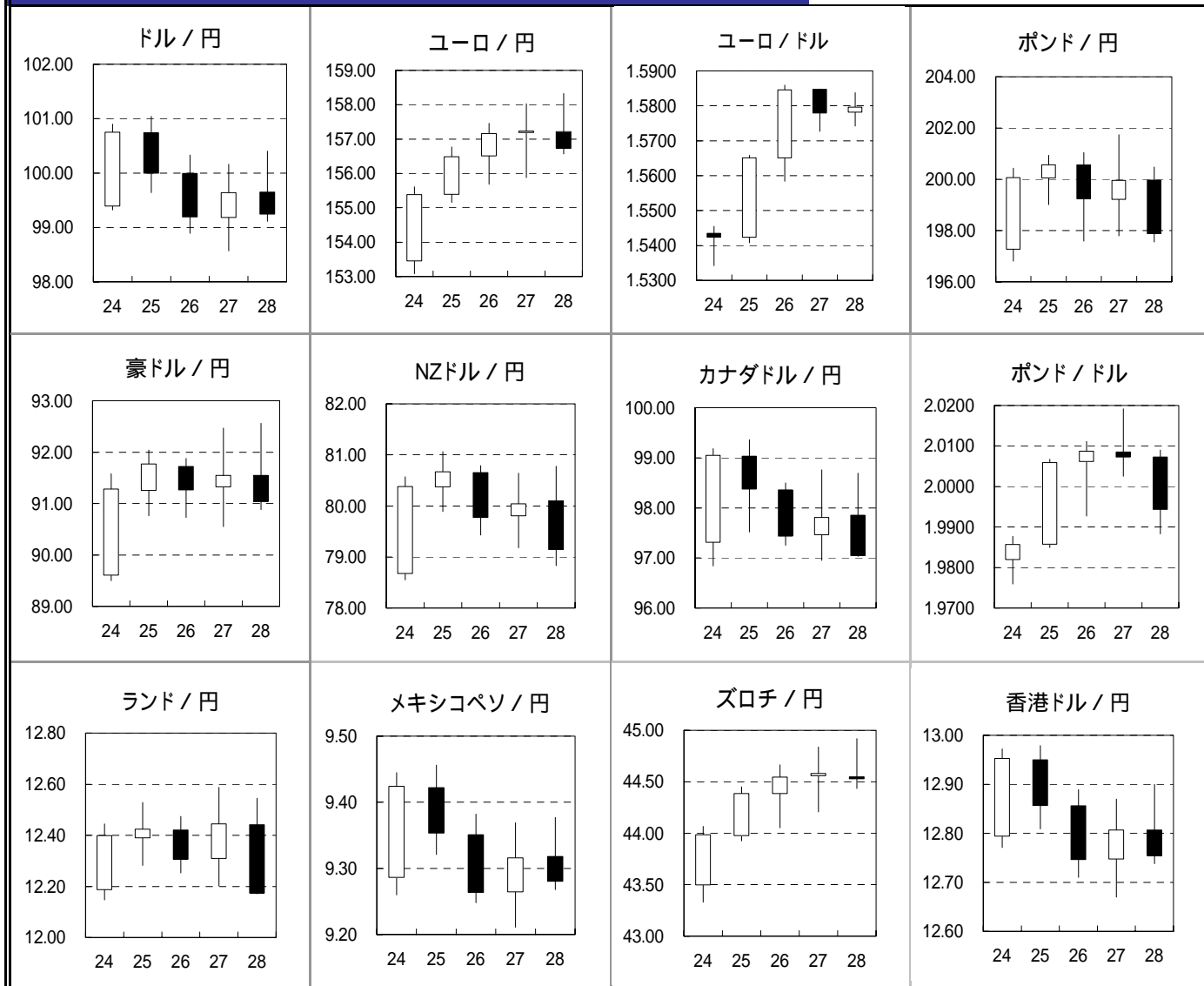
毎週月曜日(祝祭日除く)発行

平成20年3月31日

【週刊】 為替レポート

## World Market Review for last week

2008/3/24 ~ 2008/3/28



通貨の高値と安値はインターバンクにおける瞬間値です。参考値としてお考えください。

### 先週のマーケットポイント

24日	2月の米中古住宅販売は前月比 +2.9% = 全米リアルター協会
25日	米中古住宅価格、大半の主要地域で過去最大の低下 = S & P / ケース・シラー
25日	3月米消費者信頼感指数は64.5、前月は76.4 = コンファレンス・ボード
26日	3月のIFO独業況指数は104.8、予想の103.4を上回る
26日	中・長期的なインフレ期待をしっかりと抑制することは最大の優先課題だ = トリシェ ECB 総裁
26日	2月の米耐久財受注、前月比 1.7% = 商務省
26日	2月の米新築1戸建て住宅販売、前月比 1.8%の年率59.0万戸 = 商務省
28日	2月全国消費者物価(除く生鮮)は前年比 +1.0% = 総務省
28日	第4四半期の英GDP伸び率確報値、前期比 +0.6%・前年比 +2.8% = 統計局
28日	3月の米ミシガン大消費者信頼感指数確報値は69.5、前月70.8
28日	2月の米個人所得は前月比 +0.5%、消費支出は +0.1% = 商務省

当レポートの著作権はトレーダーズ証券に属し、許可無く複製等を行うことは出来ません。情報に関しては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害について、トレーダーズ証券は責任を負いかねます。また、掲載されている事項は、トレーダーズ証券のご案内のほか、外国為替・株式等の投資一般に関する情報の提供を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、金融先物取引は価格又は金融指標の数値により損失が生ずる恐れがあり、発生する損失が預託された金額を超える場合があります。事前にお渡した契約締結前書面又は説明書をよくお読みください。

# <<Market Review>> - 先週 -

2008/3/24 ~ 2008/3/28

先週の外国為替市場では、米ドルが上値の重い展開となった。週明け月曜日こそ、中古住宅販売件数が7カ月ぶりの増加となったことを好感し米ドルは上昇したが、その動きは長くは続かなかった。翌日に発表された住宅指標で、米中古住宅価格は大半の主要地域で過去最大の低下を記録していたほか、水曜日に発表された新築1戸建て住宅販売件数も前月比マイナスとなったことから、住宅事情は底を打ったという期待は早くも剥落し、ドルは再び売り優勢の展開となった。

さらには、注目されていた耐久財受注やミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回ったことに加え、金融機関の損失拡大に関わる報道などがドルの足を引っ張る格好となった。

逆に、ドイツのIF業況指数が予想を上回る2007年8月以来の高水準を記録したほか、トリシェ ECB 総裁がインフレ抑制を最大の課題としたことが、ユーロの買いを誘った。

ユーロ/ドル相場は、月曜日に一時1.5342ドルと12日ぶりの安値をつけたが、火曜・水曜日で一気に買戻しが入り1.58台半ばまで上昇。史上最高値1.5904ドルに迫る動きを見せた。週後半は、1.58ドルを挟む水準で売買が交錯したまま先週の取引を終えている。

ドル/円相場は99円台中盤から取引を開始し、月曜日に一気に

100円台後半まで上昇、火曜日の東京時間には101円台に乗せる動きを見せた。しかし、そこからの勢いが続かず、週後半は100円付近が上値抵抗線として意識される展開が続いた。結局、週の始値よりも安い水準で先週の取引を終えた。  
< 及川 佳奈子 >

## Historical Data Weekly O-H-L-C

USD/JPY	99.35-99.42	101.01-101.04	98.55-98.58	99.20-99.25
EUR/USD	1.5419-1.5426	1.5858-1.5861	1.534-1.5343	1.5803-1.5808
EUR/JPY	153.22-153.37	158.32-158.37	153.05-153.10	156.76-156.83
GBP/USD	1.9808-1.9818	2.019-2.0196	1.9756-1.9762	1.9935-1.9944
GBP/JPY	196.73-197.03	201.69-201.79	196.73-196.96	197.78-197.88
AUD/JPY	89.42-89.57	92.55-92.60	89.42-89.50	91.00-91.07
NZD/JPY	78.42-78.72	81.00-81.08	78.40-78.58	79.01-79.11
CAD/JPY	96.80-97.10	99.33-99.41	96.71-96.87	97.08-97.18
MXN/JPY	9.24-9.31	9.44-9.47	9.19-9.22	9.25-9.30
ZAR/JPY	12.07-12.22	12.55-12.61	12.07-12.21	12.16-12.24
PLN/JPY	43.31-43.51	44.88-44.96	43.27-43.39	44.46-44.54
HKD/JPY	12.75-12.80	12.97-13.00	12.65-12.68	12.73-12.78

## Market Point

トレーダーズTV

朝9:00 ~ 昼12:00 ~ 夕17:00 ~



FXシミュレーションゲーム「Net Forex ダービー」

参加無料！ 賞品総額100万円！

番組を見る <http://www.traderssec.com/traderstv/mpoint/>

詳しくは <http://www.traderssec.com/nfd/>

# <<Market Outlook>> - 今週 -

( 3/31 MON ~ 4/4 FRI )

先週は、株式相場が落ち着きを取り戻したために先々週とは様相が一変して、ドル、円共に弱含んだ結果クロス円が上昇する展開となった。28日金曜日の海外市場でユーロ円は一時158.35まで上昇する場面もあった。同日のドル円相場は、アジア株や欧州株の堅調な地合を受けてロンドン市場で100.40まで買われたが、NYダウが午後の取引で値を下げると、円が主要通貨に対して買われ、引けにかけてドル円は99.10まで下落した。

前週はサブプライム関連の話題が一巡した感があるが、次の市場の注目は米経済の先行きに焦点が当てられている。株式相場が落ち着きを取り戻した流れで、各国の長期金利が上昇基調となったが、その中で米長期金利は米経済の不透明感を反映して小幅な上昇に留まった。これが、ドルが対欧州通貨で弱含んだ一因となった。

ユーロ・ドルは3月17日に1.5905まで買われた後、先週月曜日(24日)に1.5341まで売られたが、先週一週間を通して再び上昇に転じ、週後半には1.58台半ばまで値を戻している。

今週の為替相場の注目点は米経済指標発表になりそうだ。前週と同様に今後の米経済～米金利動向を占う指標の発表が相次ぐところから、その結果に値動きが影響されそうである。

先週の米株式市場は全体的には底堅く推移したと言えるが、クレジット市場や短期金融市場など他の金融市場が依然として不安定なところから、株式市場下落基調から脱したというのは早計だ。仮に主要経済指標が市場のコンセンサスよりも弱い数値を示した場合は株式だけではなく米ドルも他の主要通貨に対して更に下落する可能性は高い。

米ISM指数は4月1日に製造業、3日に非製造業関連の指数が明らかになる。「前哨戦」としてシカゴ購買部協会が3月31日、3月分の景気指数を公表する。2日には2月の製造業受注が予定されている。また、4日金曜日の3月米雇用統計では過

去の数値の修正も考慮しながら労働市場の復活の可能性を占うことになる。非農業部門雇用者数は2月速報値まで2カ月連続で減少している。この他、FRBのバーナンキ議長が4月2日、上下両院合同委員会での議会証言に臨む予定。

日本では日銀が4月1日、3月調査の短観を発表する。企業の景況感をあわす業況判断指数(DI)の市場予想平均は大企業製造業でプラス12と、前回2007年12月調査のプラス19から大幅に下がる見通しとなっている。

外部環境の悪化と為替相場の円高傾向が企業心理にマイナスに働いた模様だ。DI急低下が日本の株式相場の下落につながるようだともナーのリスク回避が進み、一層円高圧力がかかるという悪循環に陥る可能性も否定できない。

先週は、月末ということで外貨建て投信の新規設定が10数本あったが、円高の影響で投資家の購買意欲が回復しなかったために、各金融機関の外貨手当ては低水準だった模様だ。

不透明な相場環境の中、新年度入りに伴う機関投資家新規外債投資や国内大手輸出企業のヘッジなどの為替業務にかかわる本格始動はもう少し先になりそうだ。

< トレーダーズ投資顧問 藤田 規之 >

## 今週のマーケット予想

3/31 ~ 4/4の週

	96.00	97.00	98.00	99.00	100.00	101.00	102.00
USD/JPY							
EUR/JPY	154.00	155.00	156.00	157.00	158.00	159.00	160.00
EUR/USD	1.5400	1.5500	1.5600	1.5700	1.5800	1.5900	1.6000
AUD/JPY	88.00	89.00	90.00	91.00	92.00	93.00	94.00

レンジ予想は営業企画課によるものです。

## 今週の重要指標発表予定

### マーケットカレンダー移行のお知らせ

今週の重要指標発表予定は、以下に引っ越しました。

【週間カレンダー】

<http://www.traderssec.com/forex/calendar/>

一部の指標におきましては過去データを表示させるなど多機能なカレンダーに仕上がっています。お取引の際に、ぜひご活用ください。

### 트레이ダーズ・アイ廃刊のお知らせ

トレーダーズ・アイは2008年3月31日をもちまして廃刊となります。長い間、ご愛読いただきましてありがとうございました。

なお、週間相場見通しにつきましては森レポート(お客様限定)およびマーケットウォッチでご確認いただきますようお願い申し上げます。

【森レポート】

<http://www.traderssec.com/invest/forex/mori.php>

【マーケットウォッチ】

[http://www.traderssec.com/invest/forex/fx\\_condition.html](http://www.traderssec.com/invest/forex/fx_condition.html)